

内容に変更のある該当ページは，以下のとおりです。

【書籍名：小３ 全科の復習テスト】

本文	112～113
解答	21

3

字で書きましょう。

(24点) 一つ 3

「ローマ字のつづり方」つぎの言葉^{ことば}を、ローマ

(2) 図書館^{としょかん}

(1) おじいさん

(4) 人形

(3) 手紙

(6) きょうりゅう

(5) 石けん

(8) パン屋^や

(7) 出発^{しゅっぱつ}

4

「ローマ字の読み方」つぎのローマ字の読み方

をひらがなで答えましょう。

(12点) 一つ 4

(1) shima

(2) ocha

(3) Fujisan

6

「ローマ字のつづり方」つぎの人名や地名をローマ字で書きましょう。

(12点) 一つ 3

(1) Ōsaka

(2) Shinjuku

(3) Nikkō

(4) Kyūshū

(5) Chūgoku

5

「ローマ字の読み方」つぎのローマ字の読みを漢字^{かんじ}で書きましょう。

(10点) 一つ 2

「ローマ字の読み方」つぎのローマ字の読みを

(1) 松本^{まつもと} 孝志^{たかし}

(2) 神田^{かんだ} 良子^{よしこ}

(3) 札幌市^{さっぽろし}

(4) スペイン



8

ローマ字

英語

算数

社会

理科

国語

1

「ローマ字の読み方」つぎのローマ字の読みを

ひらがなで書きましょう。(32点)一つ4

- (1) otōsan ()
- (2) imōto ()
- (3) kin'yōbi ()
- (4) yakyū ()
- (5) kitte ()
- (6) happyōkai ()
- (7) Nagano-shi ()
- (8) amagappa ()

2

「ローマ字の書き表し方」つぎの言葉をローマ

字で正しく書いた方をえらび、記号で答

えましょう。(10点)一つ2

- (1) 太 陽 { ア taiyō
イ teiyō ()
- (2) 校 長 { ア kotyo ()
イ kōchō ()
- (3) 医 者 { ア isha ()
イ isiha ()
- (4) 小学校 { ア shoggakkō ()
イ shōgakkō ()
- (5) 北海道 { ア Hokkaidō ()
イ Hokaido ()

ふく習のポイント!

- のはす音やつまる音に気をつけます。
- ローマ字でものの名前、地名・人名などが正しく読み書きできます。

<時間>
20分<合かく>
80点

<とく点>

100

月

日

何だ」は、述語がものの名前を表す文になっています。文のしゅるいは述語で見分けましょう。

- 3 くわしく説明される言葉は、くわしくする言葉(修飾語)の下にもってきても意味がおかしにならないものをえらびましょう。
- 4 くわしく説明する言葉をあてはめることに気づきましょう。また、どの言葉がどの言葉にくわしくしているかにも注意しましょう。

113~112ページ

8 ローマ字

- 1 (1)おとうさん (2)いもうと
(3)きんようび (4)やきゅう
(5)きて (6)はっぴょうかい
(7)ながのし (8)あまがっば
- 2 (1)ア (2)イ (3)ア (4)イ (5)ア
- 3 (1)ojiisan(ojisan) (2)toshoan
(3)tegami (4)ningyō(ningyou)
(5)sekken (6)kyōryū(kyouryuu)
(7)shuppatsu (8)pan'ya
- 4 (1)しま (2)おちゃ (3)ふじさん
- 5 (1)大阪 (2)新宿 (3)日光 (4)九州
(5)中国
- 6 (1)Matsumoto Takashi
(2)Kanda Yoshiko
(3)Sapporo-shi (4)Supein

考え方

- 1 (3)では「n」のあとに「i」をつけないと、「きにょうび」になってしまいます。(7)の地名や、人名はさいしょの文字を大文字で書きます。

ここに注意! ローマ字のつづり

- ①のばす音は、基本的にその字の母音の上に「^{き ほんてき}」をつける。
(れい)okāsan(お母さん)
- ②つまる音は、そのつぎの音のはじめの字を二字つづける。
(れい)Nippon(日本)
- ③はねる音(ン)は「n」で表す。ただし、「n」のつぎに母音や「y」がくるときには「n」のあとに「i」をつける。
(れい)hon'ya(本屋)

- ④人名・地名や文の一字目は、大文字で書く。地名や国名はすべて大文字で表す場合もある。(れい)Ejison(エジソン)

- ⑤地名など二つの言葉からできた言葉の間には「-」(つなぎ)を入れる場合もある。
(れい)Aichi-ken(愛知県)

- 2 (4)・(5)はのばす音、つまる音の両方に気をつけましょう。
- 3 (5)・(7)はつまる音の書き方に注意しましょう。(8)は「i」をわすれないようにしましょう。
- 6 人名や地名・国名のさいしょの文字は大文字で書きましょう。

111~110ページ

9 物語を読む ①

- 1 (1)①(れい)ほねつきの、かなり大きな肉。②二つに引きちぎり・子犬の前
(2)Aウ Bア (3)イ (4)ア
(5)(れい)やさしいところ

考え方

- 1 (1)①「それは」のあとに、くわしく書かれています。
②「まず」「そして」という言葉に着目しましょう。
(2)Aは、子犬の前に馬肉を投げた様子を表す音を、Bは、ライオンがほねをかみくだくときの音を、それぞれえらびましょう。
(3)ライオンは、自分の子どもにするように、子犬に馬肉をあたえ、子犬も「しっぽをふりながら」その肉を食べています。
(4)「ライオンの、ものすごいところ」を見せようと思ったのに、あてがはずれたから「あっけにとられ」たのです。
(5)「見物人」は、ライオンが子犬をおそわずに、馬肉をあたえて、その様子を見守っていることに、感動したのです。

109~108ページ

10 物語を読む ②

- 1 (1)戦争ごっこ (2)イ (3)ウ (4)ア
(5)ウ (6)イサム君